

## Section 1 レスポンシブWebデザイン

このセクションでは、レスポンシブWebデザインをテーマにご説明します。昨今のユーザーはスマートフォン、タブレット、PCといった多様なデバイスでWebページの閲覧を行います。それぞれのデバイスによってスクリーンのサイズも異なります。例えばPCの大きなスクリーンで表示すると見やすいものでも、スマートフォンの小さなスクリーンで表示すると、とても見づらくなります。そのため、従来はスマートフォン用にはスマートフォン用の別サイトを用意するという手法がとられてきました。ただし、その場合同じサイトを複数パターン用意することになりますので、制作上の効率が良くありません。そこで、昨今ではユーザー側の環境に応じてフレキシブルに、1つのHTMLソースからなるWebページのデザインを組み替えるという考え方、および手法がとられるようになりました。それがレスポンシブWebデザインというコンセプトです。

### Lesson 1 可変グリッドレイアウトの新規作成

《レッスンポイント》 Dreamweaverでは、レスポンシブなWebデザインを実現するための機能が導入されています。その1つが、バージョンCS6より導入された、「可変グリッドレイアウト」です。

#### 【1】 レスポンシブWebデザインに対応していない例

- ① サンプルファイルより、「sample01」フォルダーの「index.html」をWebブラウザで開き、ウィンドウサイズを最大化します。



- ② タブレットやスマートフォンを想定して、Webブラウザのウィンドウの横幅を少しずつ縮小してみます。



ページサイズの940pxよりウィンドウ幅が狭くなるとウィンドウ下部に横スクロールが表示され、ページのコンテンツの一部が表示されなくなります。結果的に、スクロールバーを動かさなければ表示されていない部分を見ることができません。

## 【2】 レスポンシブWebデザインに対応している例

- ① サンプルファイルより、「sample02」フォルダーの「index.html」をWebブラウザで開き、ウィンドウサイズを最大化します。一見、同じページが開いたように見えます。

